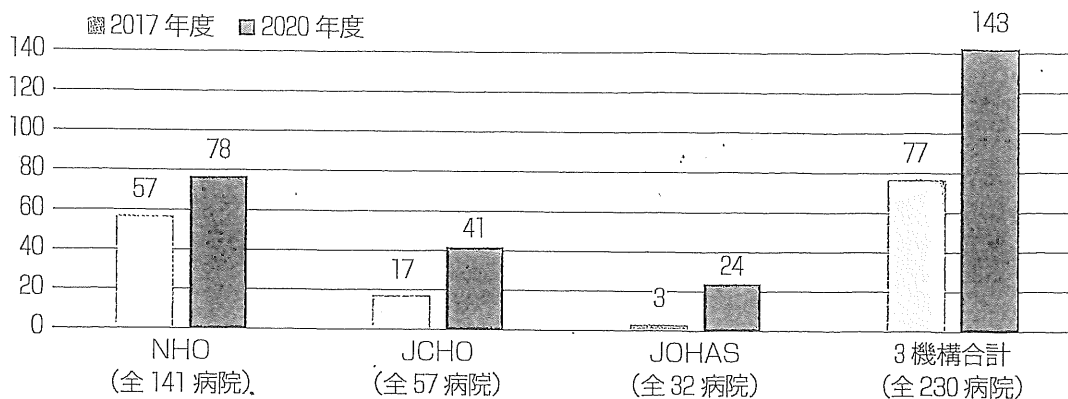
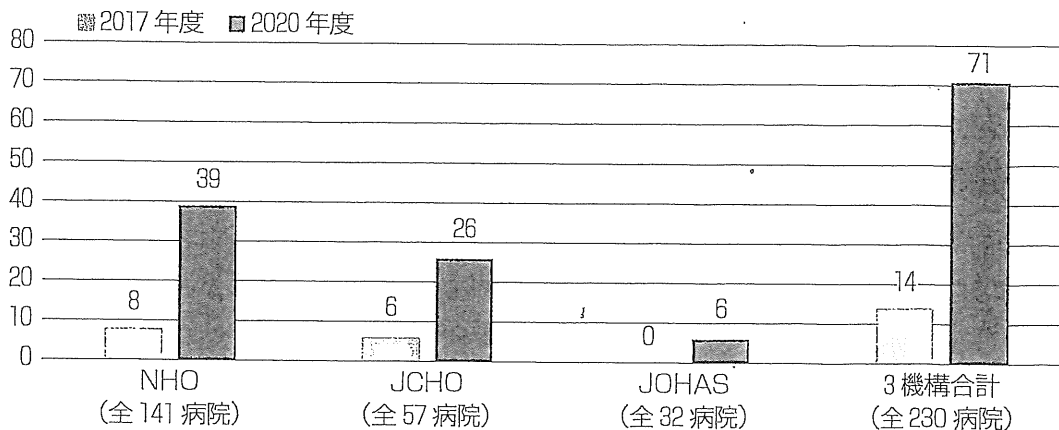


図表3 36協定で1カ月80時間以上の延長時間を定めた病院数



図表4 36協定で1年960時間以上の延長時間を定めた病院数



医師のものであるか明白であった。また、各病院は常勤職員と非常勤職員で別々の36協定を定めていたため、常勤職員のもの代表値として採用した。

JCHOとJOHASから開示されたものは「業務の種類」が開示でなかった。したがって、記載されている最も長い延長時間等を医師のものとして判断した。もしくは、改正労働基準法が施行された2019年4月以降に医師用の36協定として使用する「様式第9の4」が開示された場合は、それに記載されているものを医師のものとして判断した。また数は少ないが、「様式第9の4」が開示され

たととしてもほかの様式で定める延長時間等が長い場合は、長いほうを医師のものとして判断した。

結果は資料（38ページ～42ページ）のとおりである。

4 2020年度の36協定で定める延長時間が大幅に長い傾向に

全体の傾向として、2017年度に比べて2020年度に運用された36協定で定める延長時間が大幅に長く設定されていた。過労死ラインである1カ月80時間以上の延長時間^{*8}を定めた病院数は、2017年度は77、2020

*8 延長時間を3カ月で定めた場合は240時間以上。